

まず、目標設定!

冬休みをどのように過ごすのかは、どのような目標をもっているかで変わってきます。3年生は当然、センター試験で目標点をゲットするために最後の最後まで頑張るしかありません。1・2年生は1月実考、1月進研の得点または順位で目標設定をしてください。その目標をクリアするためにはどのような準備が必要かを考え、実践してください。

【1年生】「慣れ」は最大の敵! 初心に戻るべし!

1年前を思い出してください。舞鶴高校の合格を目指して、みんな一生懸命努力していたはず。そして、みんなは見事に合格をすることができました。しかし、入学することが目的ではなかったはず。自分の将来の夢を叶えるために、舞鶴高校に入学し、ここで自分をさらに磨こうと思っていたはず。さあ、もう一度問います。「あなたは、舞鶴高生になれていますか」。あのときの目の輝きをまだ保ち続けている人が今どれくらいいるのでしょうか?

今の学習で大丈夫? あなたは、今の学習方法で本当に実力をつけていけると思いますか。学力は自分で努力して身につけていくものです。しかし、大学受験を視野にいれると、高校3年間という一定の期間の中でその成果を示さなければなりません。したがって効果的な学習ができていない者は受験で失敗するという結果になったり、受験の時期になっても思うように学力が伸びずに、第2志望、第3志望に志望を落とすことになり。このときになって初めて、自分の学習方法のまずさに気がついたり、もう一度1年生からやり直したいという気持ちになったりするのは。しかし、**1年の今ならまだ十分に間に合います。** もう一度、自分の学習方法を点検してください。特に、しっかり文章を読み、きちんと考えながら学習しているか振り返ってください。ただ課題を提出することだけを目的の雑な学習になっていませんか。

これまで多くの先輩たちも勉強から逃げたいと思いつつも(自分と)闘ってきました。思うように理解できない、思うように記憶が働いてくれない、思うように問題が解けない、みんな同じように苦しんできました。苦しむから成長があるのです。**苦しんでそれを乗り越えるから、新しい自分に出会えるのです。** できないと嘆くより、できるようになるまでやり続けることが今一番大切なことです。今こそ奮起し、実力をつける家庭学習を確立しましょう。この冬の取り組みで、69回生が一回り大きく成長することを期待します。



【2年生】目標大学への合格を意識

68回生は修学旅行を終え、一回り大きくなったように感じます。ホームステイで自分の語学力を試し、いろいろな体験をしてきたことだと思います。また、12月5日には北予備の大山さんから刺激を受け、本気で受験生になろうと決めた者も多いと思います。講演の話のように集中して取り組んでいるかどうかで結果は違ってきます。具体的な受験生としての学習・生活のポイントを示しておきますので、参考にしてください。

1. 学習に深化を図る

理解できていないのに、ただ写すような学習はやめてください。そんな学習はいくら積み重ねても学力向上にはつながりません。自分がやっていることが、本当に学力向上につながっているかどうかを一つ一つ検証し、無駄な学習は早くやめて実力のつく学習を行ってください。**実力のつく学習とは、「なぜ?」の問いかけに対し、答えることができる学習**です。

2. 整理し、いつでも引き出せる状態をつくる

11月進研で得点できなかった問題を振り返ってみてください。たくさんの知識が頭の中にある(忘れていても多い)が、それをどのように使いこなせばよいか曖昧になってきています。これは、頭の中の引き出しが整理されていないということです。授業で習っただけで記憶を留めておくのは難しいことです。復習のための課題などを大切に、忘却曲線が落ち始める前に、もう一度記憶を固めるという作業を行ってください。そして、**頭の引き出しを整理して、いつでも使える状態**を保ってください。

3. 自分に「迫れ」

もっとできるようになりたい。次の試験で〇〇番内に入りたい。というような強い気持ちを持つことがなんと言っても一番です。賢い人間は絶えず自分に迫っています。そうすることにより、苦しいときにもう一歩が出る人間へと変わることができます。自分を甘やかす人間は言い訳ばかりしかできません。**努力する人間は希望を語ります。**

4. 11月進研の結果を素直に受け止め、本気のスタート

今、一番心配なのは、英数国総合の偏差値が55未満の者である。国公立へ合格する場合は56以上の偏差値が要求されます。本当に来年の今頃、勝負できる状態になっているのか心配です。すぐには、偏差値は上がらないので、これまで以上の努力を継続し続けることが大切です。そして、何より本人が危機感を持つこと第一です。

5. この冬が勝負

冬課題が大量に出ていることだと思いますが、これを大変だと思えるのか、ラッキーと思うかが、勝負の分かれ目です。1日10時間学習しようと思えば、少しの課題では続きません。たくさんの課題を完璧にやりあげれば必ず学力は向上します。たくさんの課題=ラッキー。

12・1月行事予定

日	曜	学校行事、1・2年進路行事	3年進路行事
20	金		センター試験説明会
21	土		
22	日		
23	月		
24	火	国際情報発表会、終業式	
25	水	OSS海外科学研修	冬季補習①
26	木	OSS海外科学研修	冬季補習②
27	金	OSS海外科学研修	冬季補習③
28	土	学校閉鎖、OSS海外科学研修	学校閉鎖
29	日	学校閉鎖	学校閉鎖
30	月	学校閉鎖	学校閉鎖
31	火	学校閉鎖	学校閉鎖
1	水	学校閉鎖	学校閉鎖 (北予備ファイナル)
2	木	学校閉鎖	学校閉鎖 (北予備ファイナル)
3	金	学校閉鎖	学校閉鎖
4	土	(学校閉鎖)	フレテスト 勝つカレー
5	日	(学校閉鎖)	フレテスト
6	月		冬季補習④
7	火	職員会議	冬季補習⑤
8	水	始業式、1月実考	
9	木	1月実考、APU学長講演会	
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	成人の日	
14	火		
15	水		
16	木		
17	金		センター試験激励壮行会
18	土	1月進研模試(1・2年)	大学入試センター試験
19	日	1月進研模試(2年)	大学入試センター試験
20	月		自己採点、学年集会
21	火		センター後1期時間割(2/1まで)
22	水		
23	木		
24	金		出願審査会(午後放課)
25	土	1年学研模試 2年サタセミ タイロップリー校来校	三者面談

1・2年生も3年生のセンター試験から2次試験までの受験の流れを理解しましょう。次号でセンター試験について説明します

【3年生】

勝負はここから！ まだまだ伸びるぞ、舞高生！！ 「あたま」と「こころ」の準備 67回生、気持ちはひとつ。

センター試験まであと一ヶ月となりました。「あたま」と「こころ」の準備は順調ですか。「あたま」の準備については最後の最後まで継続しかありません。諦めずに、最後までコツコツやっていきましょう。**現役生が最も学力を伸ばすのはこの一ヶ月です。**授業や課題を確実にするとともに、これまで受験した模試のやり直しや授業で扱った問題集の見直しなどが大切です。また、初見問題への対策は、冬季補習、1月4・5日のプレテスト、代々木白パックで行いましょう。「あたま」と同様に大事なものは「こころ」の準備です。一ヶ月前になって急に焦りを感じ、落ち着いて勉強に取り組めないひともいるかもしれません。不安や焦りが苛立ちから親や友達にぶつかったりすると人間関係が気まぐずくなり勉強する気も失せてきます。あと一ヶ月、自分を信じ、クラスの仲間と気持ちを一つにして向かっていくしかありません。「こころ」を落ち着けて勉強に取り組むことです。**授業や自学の前に、深呼吸をして「今から落ち着いて問題にとりくむぞ」と自分の心に問いかけてください。**落ち着きたいイメージをつくって勉強を始めてください。本番でも同様にすると、いいイメージがすぐにつくれ、必ずうまくいきます。今、踏ん張っている人には、必ず明るい光がさしてきます。また、ここまであなたたちを支えてくれた人たちへの感謝の気持ちも持ってもらいたいです。その気持ちがさらに頑張ろうという思いを強くしていきます。

「あたま」と「こころ」の準備をしっかりとしてください。将来の自分のためにも、今自分がやるべきことに向き合ひましょう。最後にみんなの笑顔に会えることを楽しみにしています。一緒に頑張りましょう。

*

センター攻略は「思考力の深さ」にかかっています。

しかも、短時間の中で一気に鋭く考えなければいけません。また、**単発の記憶に頼るのではなく、網を張ったイメージでいろいろな分野に繋げて考えることが大切**です。共通テストへの移行も視野に入れ新しい形式の出題があるかもしれませんが、習った内容以外の範囲からの出題は絶対にありません。鋭く考え、繋げていけば必ず突破口は開けます。冬休みの講座で各教科・科目において仕上げに向けての最終演習が行われます。この演習の中で、「**鋭く考える**」「**繋げて考える**」を意識して解いてください。また、大学の可否はセンター試験だけでは決まらないことも忘れずにいてください。センターを終えたら、37日で前期試験です。今年もこの期間が短いです。

文Iの生徒たちが順調に「合格」を勝ち取ってくれています。連日の面接や小論文の練習の成果です。安部学年主任の「まず、文Iがしっかり先陣を切れ」という言葉に見事応えることができています。しかし、ここからセンター試験、国公立大学の2次試験と難しい試験が始まってきます。校舎は声が響きやすく、少しの話し声でも大きく共鳴し学習の妨げになります。進路内定者は帰るときは廊下等で話をせず静かに下校してください。校舎を出るときには「みんな頑張れ」と心の中で囁いてください。67回生は最後の一人が決定するまで気持ちは一つです。全員が決まるまで気を抜かずいきましょう！

*

最後の1ヶ月、「攻め続けろ」！

みんな、力強く前向きに頑張ってますか？大一番を直前に控え、学習が思うように進まずイライラしたり、点が出なかったらどうしようと不安を持ったりと、ネガティブになっていませんか。誰もが、試験で実力を発揮できるかどうか不安です。適度な緊張感を持つことは大切ですが、緊張しすぎたり弱気になっていると脳は活発に働いてくれません。「守り」に入ると実力を出し切ることは難しくなってきます。「攻撃は最大の防御」です。今こそ、積極的な心がまえ、前向きな期待感を持ち続けることが何より重要です。自分自身を信じていない人が成功することはほとんどありません。そして、自分自身を信じていない人は、失敗してしまうのではないかということばかりが気になって、注意が自分だけに向いてしまいがちです。スポーツの世界ではよく「**敗者は起きてほしくないシーンを描き、勝者は起きてほしいシーンを描いている**」と言われます。前向きなイメージを持つことで能力を最大限に発揮できます。毎日就寝前に、落ち着いて準備万端で試験に臨む自分をイメージしてください。さらにここ一番では、「私はできる、そして私はやる。」是非とも一人ひとりのポジティブなエネルギーを結集し、全員で大きなうねりを起こしてください。みんなの健闘を祈ります。